



## ☆ニュース1.『退院援助研修①』が行われました。

研修日：平成28年8月27日（土）

会場：ワインクあいち

企画：退院援助研修委員会

テーマ／講師

①『どうしていますか？診療報酬改定と退院援助』

- ・友松裕子氏（名古屋記念病院）

②『実践報告 一退院援助の現状と課題一』

- ・前田美都里氏（安城更生病院）
- ・佐々木直子氏（豊川市民病院）
- ・河合秀樹氏（鵜飼リハビリテーション病院）

参加人数：45名（内非会員5名）



友松講師の講義と質疑応答



機能別実践報告

今年度も退院援助研修がスタート致しました。第1回目は、診療報酬改定を軸にMSWに係る加算内容の理解と、実践報告及びグループワークから、自分の所属機関における専門性やポジショニングをどのように意識し、実践していくかを考える研修内容です。開始直前までに、坂本委員長と各講師との綿密な打ち合わせが行われておりました。黒木会長挨拶の後、友松講師より診療報酬改定の概要や加算について詳しく紐解きながら講義がなされ、参加者からの質疑も活発でした。

続いて、シンポジウムとグループワーク形式で『退院援助の現状と課題』について学びました。

シンポジウムでは、各講師から機能別に実践報告がなされ、法の解釈に苦慮しながらも独自に工夫している取り組み等を述べられ、参加者の注目を集めていました。グループワークでは、研修委員や講師もファシリテーターとして介入し、有用な情報交換と共有の場となっていました。他院の取り組みを知ることで、自らの職場の状況を客観的に認識することができ、一人ひとりが良いお土産を持って帰ることができたのではないかと思います。



グループディスカッション



講師との打ち合わせ

参加者からは、「スクリーニングの方法や疑義解釈の違いがある事、また確認ができたことは大変勉強になった。」、「非会員参加であるが、愛知県のような研修はやってないので、どんどん案内を出して欲しい！」と満足度の高いインタビュー内容でした。また、講師からは「実際手探りの中でやっていると思うが、自身のふり返りにもなり参考になった。」というコメントも頂いております。

次回以降も充実した内容の展開が期待される研修です。ホームページ上では、現在追加参加募集もしておりますので、皆さま奮ってお申込み下さい！！

記載者：研修理事 伊藤隆英

## ☆ニュース2. 『専門研修②』が行われました。

研修日：平成 28 年 8 月 27 日（日）

会場：日本福祉大学名古屋キャンパス

企画：専門研修委員会

テーマ／講師

「中堅・ベテラン MSW のための『面接技術』Ⅱ

～ソリューション・フォーカス・アプローチ (SFA)

を用いた 意思決定支援のための面接～中堅・ベテラン

MSW・SW のための面接～」

・田中千枝子先生（日本福祉大学）



グループワークの様子

参加人数：13名

8月28日に日本福祉大学の田中千枝子先生による専門研修の第二回目が開催されました。受講者は13名と前回の専門研修と同様の人数でしたが、充実した研修となりました。

午前中は、前回の研修の復習として援助者の姿勢やシステム理論の循環的な認識枠組を学び、次にソリューションフォーカストアプローチの考え方や質問の型を学びました。午後からは、当協会の研修委員会が共同作成したロールプレイのビデオを見て、グループでシステム理論のアセスメント内容を話し合いました。そのうえでソリューショントーク（解決を導く会話）を導く事例の台本を作成してロールプレイを行いました。



SFA を意識して、いざロールプレイ！

本研修は、これまでとは一味違う見方や質問の仕方を学びたい方にはぴったりの内容です。なお本研修と同じ研修が来年の1月に予定しています。今回の参加を見逃した方、新しい考え方を学びたい方、ぜひぜひご参加していただきたいと思います。皆様、お待ちしています。



記載者：研修理事 伊藤信司

